月刊 ひろみち通信

July 2012

http://www.hiromichi21.com

絆 KIZUNA がんばろう日本！

討議資料

自民党千葉県第６選挙区支部長
前衆議院議員／元経済産業副大臣

外交と防衛を領土問題から考える。

ミャンマーは大切な国です！
ミャンマーの民主化に全力支援を。

～渡辺ひろみちプロフィール～　昭和 25 年８月３日松戸市生まれ

松戸市立北部小学校、第一中学校、千葉県立東葛飾高校、早稲田大学法学部卒業。
明治大学大学院修士科修了。

〈職歴〉

平成 07 年	千葉県議会議員選挙初当選
平成 08 年	衆議院議員選挙初当選
	※以降四期連続当選
平成 21 年	衆議院選挙に於いて惜敗
平成 13 年	内閣府大臣政務官就任
平成 16 年	自民党統括副幹事長就任
平成 18 年	経済産業副大臣就任
平成 19 年	衆議院総務委員長就任

14 年も前になりますが
軟禁状態のスーチー氏と面会
～氏の志の高さに感銘を受ける～

1998 年 12 月に唯一の一期生議員として参加させて頂いたミャンマー表敬訪問において、最大で最も困難なミッションとして敢行された自宅軟禁中のスーチー氏を訪れて、彼女の自国愛の強さと先見性と決断力に深く感銘を受け、**政治家としての在るべき姿を見せ付けられた想いをした経験が、私の大切な宝物となっています。**

1998 年当時は、軍事クーデターによって築かれ 26 年間続いた社会主義政権が民主化を求める大衆運動によって崩壊するも、国軍がデモを鎮圧アウンサン•スーチー氏を自宅に軟禁状態を強いている軍事政権下であり、世界各国からの経済制裁等の圧力も加わり、国際社会から完全に孤立する国家であるミャンマーへの訪問は、非常に困難であった事を改めて一筆加えておきたいと思います。本来ミャンマーはビルマという名前で古くから日本とは深い国交で繋がっていた国の一つでした。国民の殆どが親日家であり、日本と同じ仏教を信仰するミャンマーの方々の求める未来と我が国が出来る支援策の有無を確認する為に、外務省と自民党の外交力をフルに発揮してあらゆる可能性を模索し続け、一年間の準備期間を経て実現しました。当時のミャンマーを民主主義国家で表敬訪問し、スーチー氏に面会できたのは私たちだけだと思います。スーチー氏は、母親の駐インド大使就任に伴いミャンマーを出て英国流教育を受ける事で、彼女の人生は波乱へと導かれたのかも知れません。英国のオックスフォード大学で学び、英国人と結婚し二人の子どもと幸福な人生を送る普通の主婦が、母親の看病に母国に戻るタイミングと民主化の運動が同時期だった。まさに数奇の運命に翻弄される彼女の人生を物語っています。

彼女は民主化運動の主導者として、愛する家族と決別し長期にわたる軟禁状態を強いられながらも、強い自国愛と民主化がミャンマーの未来と次世代に繋ぐ唯一の道と信じ続ける先見性とあらゆる弾圧にくじけない強い心が、12 年という長い時間と身の自由を自身の夢や民主化の指導者としての責任を引換えに現実のものとしました。ミャンマーとの親密な国交は、ミャンマーの未来のみならず、日本の未来にも大きな影響を与える国へと成長する可能性を秘めた政治的事業だと考えています。インドシナ半島西部に位置し、北東に中華人民共和国、東にラオス、南東にタイ、西にバングラデシュ、北西にインドと国境を接するアジア安定化に重要な国家でもあり、手つかずの豊富な地下資源や勤勉な国民性などの人的資源にも恵まれています。**日本は何処の国よりも早く、ハード面•ソフト面での支援を積極的に展開しなければなりません。**

※私の所属する自民党アジアの子供達に学校を作る会では、ミャンマーの子供達に学校を建設し、贈呈しています。
※右掲載写真▶ミャンマーにおいて建設された小学校。

我が国の対ミャンマーの基本政策

我が国の対ミャンマーの基本的政策は、❶人的交流❷経済協力（ODA）❸経済分野での交流と支援❹文化交流の四本柱を基本政策を計画で展開して行くと考えられます。

渡辺博道が重要視している事は、**外交戦略上も軍政時代に中国寄りだったミャンマーとの関係強化は、中国の膨張路線に対する牽制**となり、アジア地域の安定化にも大きな可能性を秘めているという事とミャンマーに眠っている豊富な地下資源を求めて日本の企業や政府が進出する足掛かりにする要因として、道路や発電所などのインフラ整備への投資や支援が必要となります。円借款の再開は、対日感情の良好な今こそ積極的に民主化支援と経済改革支援策を展開して行かなければなりません。

※表紙の写真▶1998 年 12 月元外務大臣（故）武藤嘉文先生に同行し、ミャンマー表敬訪問時に撮影

渡辺ひろみち事務所
〒271-2241 千葉県松戸市松戸新田５９２
電話 047-330-3111　FAX 047-330-1008